

ともに考え、活動し、成長する博物館

三重の新県立博物館



新博物館はこんな博物館になります

■新博物館の使命

新博物館は、博物館の持つ機能（資料を保存し活用する）を最大限に発揮して、人づくりや地域づくりなどに幅広く貢献していくため、次の3つを使命とします。

1 三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代へ生かす博物館

三重の自然と歴史・文化に関する資産をこれからの100年、200年に向けて保全・継承するための主要な役割を果たすことにより、三重のありようや歴史を明らかにし、地域文化の発展と未来を拓く新たな地域創造につなげていきます。

2 学びと交流を通じて人づくりに貢献する博物館

子どもたちをはじめとする県民・利用者みなさんが主体的に楽しみながら、博物館での交流や活動を行うことをとおして、新たな知の創出・循環の場として人づくりに貢献します。

3 地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献する博物館

博物館活動をおして、県民・利用者みなさんが地域の魅力を再発見し、地域への愛着と誇りを育む場となります。

■新博物館のテーマ

新博物館は、みなさんとともに、三重の特色である「多様性」を探求し、生かすことにより、力にして行きます。

三重が持つ『多様性の力』

多様性の力とは…
1 多様性の探求がもたらす力

2 新たな文化を創造する力

3 今をつくり、未来を切り拓く力

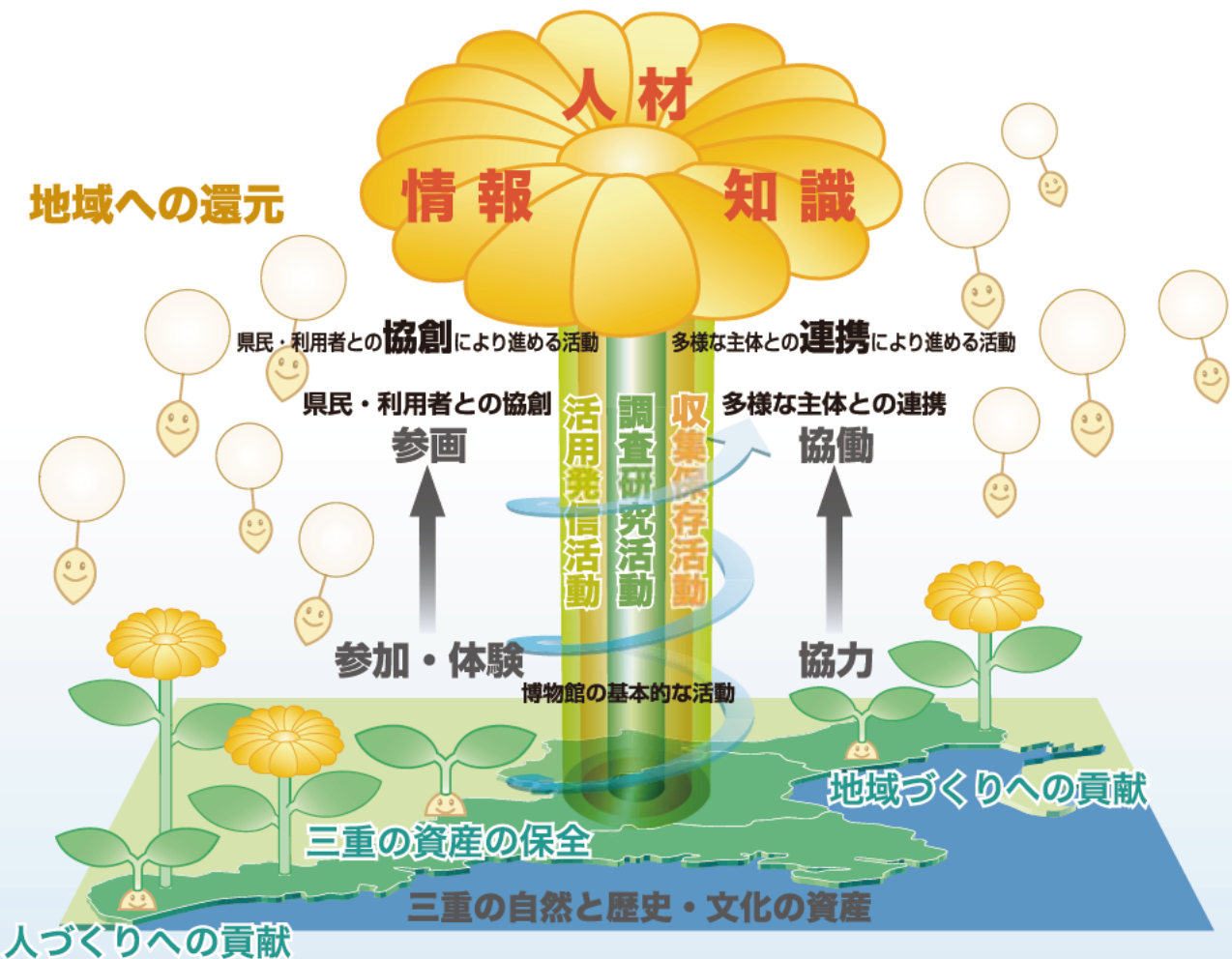
■ 新博物館の活動—「協創」と「連携」で展開する博物館活動—

新博物館では、「協創」と「連携」の視点から、すべての博物館活動を県民・利用者のみならず、県内外の多様な主体とともに活動します。

ともに考え、活動し、成長する博物館

- 県民・利用者の視点に立ち、すべての活動を県民・利用者へ開く
- 三重に根ざし、日本、世界を視野に入れた活動を展開する
- 新しい“総合”の観点で展開する
- 今に生かす、未来を拓く
- 信頼と安心で“成長する博物館”を実現する

<博物館活動の展開イメージ>



調査研究、収集保存、活用発信の3つの活動を、「協創」と「連携」の2つの視点で進めることによって、人材や情報、知識が花開き、それらの種（活動の成果）が地域へ広がり、三重の資産の保全や人づくり、地域づくりへ貢献していく循環をイメージしています。

■ 新博物館における基本的な活動

新博物館では、三重の自然と歴史・文化の資産を保全・活用する基本的な活動として、調査研究・収集保存・活用発信の3つの活動を進めます。

3つの活動を相互に結びつけ、「協創」と「連携」の視点から、県民・利用者のみなさんや諸団体・諸機関とともに展開します。



調査研究活動

～みんなで見つける三重の魅力～

- 博物館活動の根幹となる活動として、収集保存活動や活用発信活動に役立っています。
- 長期的な計画のもと、横断的・総合的に幅広く活動します。

収集保存活動

～みんなで守る三重の宝～

- 三重の自然と歴史・文化に関する資産を守り、県民の共有財産として次代に引き継ぎ生かします。
- 活動をとおして、地域資産の守り手の育成や、地域資産の保全活動を進めます。

活用発信活動

～みんなで育む三重の誇り～

- 調査研究活動、収集保存活動によって蓄積された三重の自然と歴史・文化に関する資産や情報を、だれもが気軽に幅広く活用し、発信できるようにします。

交流創造

それぞれの興味や関心、学習や研究、活動などの目的に応じて活用いただけます。

- 三重に関するレファレンス
- 三重の資産に関する情報の受発信
- 資料の閲覧
- 学習交流プログラム

展示

- 基本展示
(三重の豊かな自然のすがたや人びとのくらしのあらしをコンパクトに紹介)
- テーマ展示
(トピック展示、企画展示、交流展示など、多様な三重の魅力を多彩に紹介)
- 体験展示、分類展示、野外展示、館外での展示

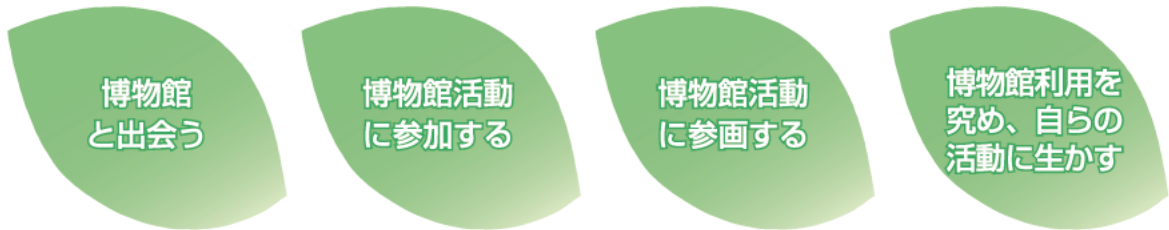


■ 県民・利用者のみなさんとの協創によって進める活動

新博物館では、より多くのみなさんに訪れていただくための活動、だれにとっても利用しやすい博物館づくりを行っています。

県民・利用者のみなさん一人ひとりが それぞれの関わり方を持てるよう、幅広い活動を用意します

博物館活動への入り口はたくさんあります。
みなさん一人ひとりの利用のあり方が見つかります。



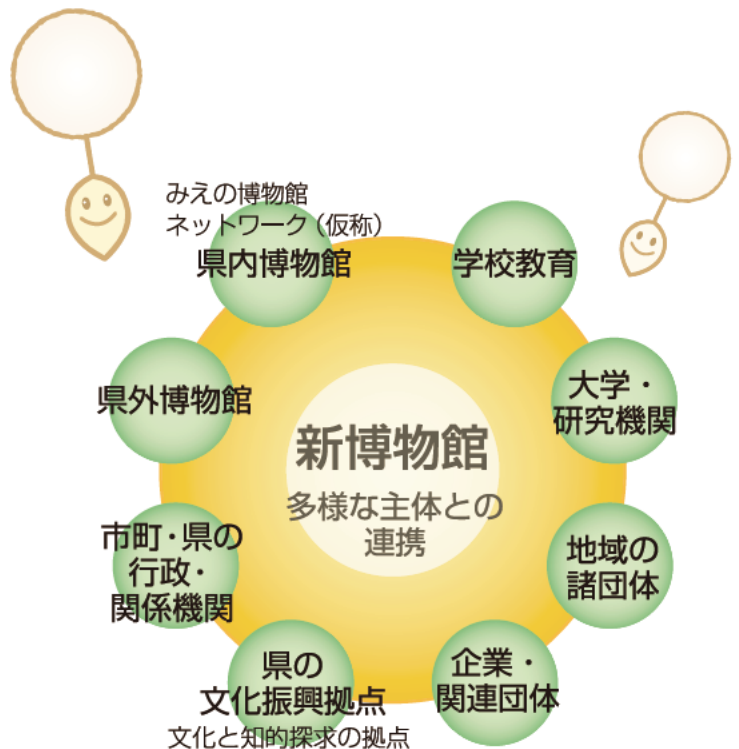
県民・利用者のみなさんと進める取組には、
例えばこんなものがあります。

- 県民・利用者参加型で行う全県的な調査研究の取組
- 次世代の新たな活動の場をつくる取組
- 地域で主体的に活動する人を支援する取組
- 博物館活動の評価を県民・利用者の参画を得て行う取組



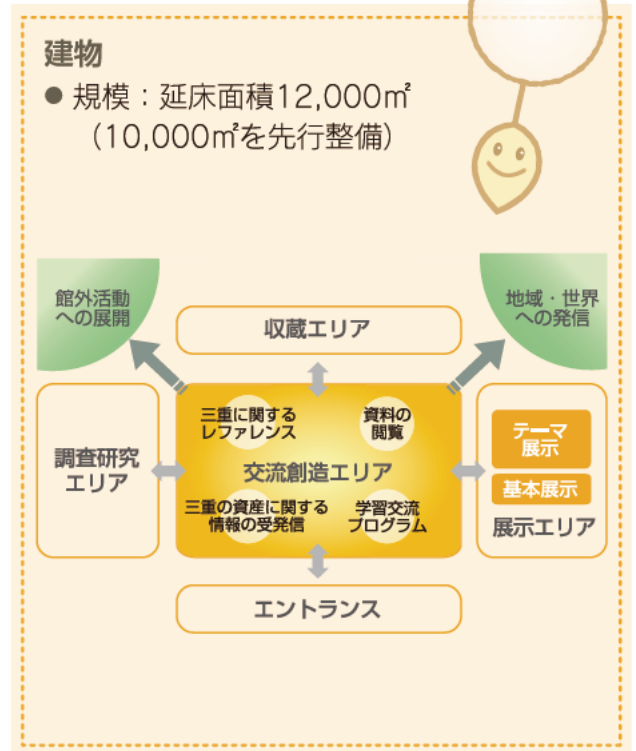
■ 多様な主体と連携して進める活動

- 多様な主体との連携により、博物館活動の質や量を高め、県民・利用者のみなさんにとってよりよい活動・サービスを提供します。
- 三重の資産の保全活動を広げる取組を進めます。
- 県内博物館の連携・ネットワークをつくり生かすことにより、県全域がまるごと博物館となるような活動を展開します。



■ 新博物館の施設

- 県民・利用者のみなさんの主体的な活動や交流の場が館の特徴となる施設とします。
- 近接する県総合文化センターや美術館と一体となった一大文化ゾーンをつくりまします。
- 環境保全やユニバーサルデザインについて配慮します。



■ 新博物館の運営

「すべての活動を県民に開く」博物館として、県民・利用者のみなさんとの協創や多様な主体との連携で進め、人やグループが持つ力を総合した活力ある博物館運営をめざします。

- 県民・利用者のみなさんとの協創により運営を進めます
- 多様な主体との連携により、効果的な博物館運営を進めます
- 博物館の質や魅力、県民・利用者のみなさんの満足度を持続的に高めます
- 開かれた博物館として、県民・利用者の立場に立った運営を行います
- 効果的・効率的な運営のもとで、博物館の使命・役割を持続的に、着実に果たします
- 環境保全の大切さを発信する管理運営を行います

■ 整備に向けて

整備事業費

- 約120億円（用地費等を含む）
(第1期分10,000㎡程度)

事業スキーム

- 公設公営・一部民営
(一部指定管理)

スケジュール

2009年（平成21年） 建築および展示設計

2010年（平成22年）以降 用地造成・建築および展示工事

2014年（平成26年） 開館目標

新博物館の特色となる

7つのポイント

協創の視点

すべての博物館活動を県民・利用者みなさんに開き、ともに活動することで、「文化と知的探求の拠点」としての博物館をみんなで作ります。

連携の視点

県内外の多様な主体と活動することで、博物館の活動の質や量を高め、よりよい活動やサービスを提供します。

新しい“総合”

新しい“総合”の観点から、館内にとどまらない博物館活動を展開します。

- 三重の自然と歴史・文化を総合的に捉えます。
- 活動を総合的に展開します。
- 人や組織の総合力を生かします。

人づくり・地域づくり

みなさんとともに活動することにより、人づくりと地域づくりに貢献します。

- みんなで見つける三重の魅力（調査研究活動）
- みんなで守る三重の宝（収集保存活動）
- みんなで育む三重の誇り（活用発信活動）

公文書館機能の一体化

- ・歴史的公文書を三重の資産として一体的に保全・活用します。
- ・総合博物館との一体化は、全国初の本格的導入例となります。


交流創造

- ・みなさんが主体的に活動し交流する場として、新たに交流創造エリアを設けます。
- ・だれもが気軽に訪れ、新しい発見・驚き・知的好奇心を誘う場、未来を担う子どもたちを育む場とします。

多彩な展示

- ・多様で豊かな三重のあらましや魅力をフレキシブルに組み合わせて紹介します。
- ・みなさんとともに活動することにより、出会いや交流の場となる展示とします。

新博物館には、
みなさん一人ひとりの楽しみ方、関わり方があります



みんなでつくる博物館です。
一緒に考えてみませんか。

新県立博物館基本計画 概要版
2008年(平成20年)12月

● 問い合わせ先

三重県生活・文化部 新博物館整備プロジェクト

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

TEL 059-224-2175

FAX 059-224-2408

E-mail shinhaku@pref.mie.jp

URL <http://www.pref.mie.jp/SHINHAKU/HP/>